



日本スポーツ栄養学会 第11回大会が福岡で開催されました。本学科の教員が口頭またはポスター発表に参加しました。演題発表を紹介します。

■1日目 一般演題1 研究・調査発表①

8月30日(土) 9:50~11:20 第2会場

1-01-4 低炭水化物食の摂取によるケトシスが筋肉痛および一酸化窒素代謝物と酸化還元度に及ぼす影響

仙台大学 真野 芳彦

参考
1-01-4
oralの意味で、口頭発表を指します。

■1日目 一般演題6 研究・調査発表③

8月30日(土) 16:40~18:10 第3会場

1-06-4 ローイング競技全日本優勝チームの食・トレーニング・人間関係等の年次推移(7年間)

仙台大学 早川 公康

スポーツ栄養の科学
—活動と成長のエナジー—

■2日目 一般演題11 実践活動報告⑤

8月31日(日) 13:10~14:10 第4会場

2-011-5 栄養士養成課程の学生が行う大学生スポーツ選手の栄養サポート活動

仙台大学 岩田 純

参考
2-P-10
posterの意味で、ポスター発表を指します。

【研究・調査発表】

2-P-10 ルテイン・ゼアキサンチンサプリメントの2週間継続摂取が長時間の自動車レーシングゲームによる主観的眼精疲労とゲームパフォーマンスに及ぼす影響

仙台大学 平良 拓也

■2日目 一般演題12 実践活動報告⑥/症例報告④

8月31日(日) 14:20~15:30 第4会場

2-012-6 日本人男子プロサッカー選手における試合期のエネルギー及び栄養摂取状況の検討—UEFAのガイドラインと比較をした1名の選手における症例—

仙台大学/株式会社ベガルタ仙台 山田 大進

【実践活動報告】

1-P-25 地域中学生の体力向上を目的としたトレーニングと栄養の教室における取り組み

仙台大学 菅原 麻莉